

いわみぎわ



発行所 陸軍省 陸軍大臣官舎 1-3
陸軍省 陸軍大臣官舎 1-3
陸軍省 陸軍大臣官舎 1-3
印刷所 北海道印刷局 1-350
電話 (0126) 45-2721

北部方面総監の初度視察受察

十四年振りの里帰り 志方北部方面総監

北部方面総監、志方俊之陸将が十一月八日、晩秋の小雨にけむる岩見沢駐屯地を初度視察された。

当日は、秋雨前線の影響で、朝からあいにくの小雨と成ったが、午前十時、駐屯地のヘリポートに到着、第三施設団長(加藤哲朗陸将補)、岩見沢駐屯地司令の出迎えを受けられた後、儀仗隊(隊長土谷修三尉)の栄誉礼を受け巡視された。

志方総監は、群の前進である第一〇二施設大隊最後の第十二代大隊長兼岩見沢駐屯地司令として、二年間勤務された懐かしい駐屯地であり、事後実施された状況報告、隊内巡視でも当時の変貌が終了され離駐された。

その後、前岩見沢市長園兼孝治氏、現岩見沢市長能勢邦之氏、岩見沢自衛隊協力会隊区連合会長笠原喜平治氏、広報隊区内三笠、月形町、栗沢町、北村の市長村長等を初め、隊友会員、駐屯地幹部等内外九十名が出席、体育館で懐かしい顔の人達と歓談を交えた楽しい会食を実施され満足された様子であった。

その後、来賓との記念撮影、駐屯地幹部との懇談会を実施され十三時二十分初度視察を終了され離駐された。



管内を巡視される志方方面総監

北部方面総監初度視察訓示



私は、北部方面総監の志方陸将であります。

寺村一佐が統率する第十二施設群を主体とした、岩見沢駐屯地の初度視察にあたり、駐屯地の隊員諸君にこの様にしてお話を出来る機会を得ました事を嬉しくおもいます。

先程、寺村司令から報告を受けましたが、当駐屯地に所在する諸部隊の隊員が、大変家族的に明るくその中でも厳しい職務を通じて、立派な部隊作りを勤めておられる様子を聞きまして大変嬉しくおもいます。

私も、この第十二施設群が出来た直前の第一〇二施設大隊という部隊の最後の大隊長として、司令勤務を二年間実施しました。

歴代の駐屯地司令の統率のもとに、皆さんが一つ一つの目に見えないところでゴツゴツと努力をされて、積み上げた成果が今日この様な立派な部隊に成り、また、駐屯地に成ったものと思えます。

特に、第十二施設群は平時の訓練の他、演習場整備、駐屯地の環境整備、部外工事、そう言うものを実施し、又有事には、作戦の終始を通して前方から後方にいたる広範な地域で、施設支援を実施しなければなりません。

諸君の任務は、そう言う意味では非常に重要なものがあります。

国民、そして自衛隊、北部方面隊の期待は非常に大きいものがあります。

諸君は、一人一人その自託を身に受けて、多くの悪条件と諸制約を克服して職務に精勵していると思えます。心から敬意を表します。

役に立たないのでは、その工場と言うのは、その工場の役目をなしていないと言う事であります。

我々の最終の目的は、精強な部隊を維持して置くと言う事であります。

その為には、色々な事が必要だと言う事を忘れてはいけません。

士気高く、強固に団結した訓練精進な部隊が岩見沢に存在する事、それが抑止力であります。

それぞれの部隊は、英知を結果して士気を高め団結を強固にして、教育訓練に邁進していただきたいと思えます。

その第二は、人を大切にしたいと言う事であります。

陸上自衛隊では、人が戦力の基本と言いますけれども、それはなぜならば、特に、施設部隊と言ひば、集団で行動すると言つても作業する現場、現場にいる隊員は、ほとんど指揮官から離れたところで行動している場合が多いのであります。

したがって、それぞれの隊員諸君がその持ち場で頑張っているならば施設支援と言う任務が達成出来ません。

各々が相互に離れた場所でも戦っていると言ひば、頼りなげな感じがすれば陸上自衛隊の

隊務任務達成は望みません。各級指揮官は、部下を大切に部下の不平不満や部下の苦しみを理解し得るように成ってもらいたい。

また、隊員諸君は一人一人が幸せで生きがいを持ち、活き活きと前向きに隊務に精勵していただきたいと思えます。

この両方が相まって初めて信頼感が部隊の中に醸成され、精強な部隊へ踏み出す訳であります。



第三番目は、良き道民、市民たれと言う事であります。我々の任務の遂行はあくまで道民の協力と支援が前提であります。

道民の協力がなくては、たった五万の北部方面隊で北海道を防衛する事は出来ません。したがって、我々は立派な自衛隊員である前に、まず良き道民、市民でなければなりません。

諸君は、良き岩見沢市民として積極的に地域に駆け込み、住民の皆さんの信頼と尊敬を受けるようにしていただきたい。

以上「精強な部隊の練成」これが最終目的であると言う事、その際に、「人を大切に」すると言う事、一人一人の隊員が不幸で悩みがあつてこの部隊は立派であると言う事はありません。

第三は、良き道民、市民たれ！そう言う三つについてお話ししましたが、各級指揮官及び諸君は今後更に一体となつて精強な北部方面隊の練成に全力を投入してもらいたい。寺村隊長のもと、第十二施設群及び駐屯地各部隊の諸君の一層の健康を期待して訓示と致します。

岩見沢駐屯地創立記念行事

九月二十三日自衛隊協力会
岩見沢隊区連合会・隊友会岩
見沢支部共催のもと、岩見沢
駐屯地創立三十七周年・第十
二施設群創隊十五周年記念行
事を実施した。記念式典は、
衆参両議院議員・空知支庁長
・岩見沢市長はじめ地元の名
士及び多数の来賓を迎え、隊
員家族一般市民に駐屯地を解
放して午前十時に開始され、
巡閲、司令の式辞、来賓の祝
辞、協力関係者への感謝状の
贈呈と続き、最後に正々堂々
のパレードで威容を示した。

特に、今年は自衛隊隊友会
のパレード参加もあり式典に
花を添えた。その後、第十一
音楽隊の音楽演奏を行い、軽音
楽を奏み、最後に今年の
三月入隊した新隊員二十五名

隊に成長した自衛官姿を披露
した。訓練展示は、ヘリコプ
ターからのレンジャー隊員の
降下に始まり、道路障害作業
車による障害構成、自走架柱
橋による橋の設置、自走浮橋



隊友会初のパレード

訓練出陣式

年度最大の行事である群訓
練検閲受閲に先立ち十月一日、
駐屯地体育館において、業務
諸隊長以下駐屯地業務隊全員
の倍列を得て隊員の士気を鼓
舞し、団結を図るとともに優
秀な成果を期するため、出陣
式を実施した。式では群長か
ら「一人一工夫全隊員最大限
の能力を発揮せよ」と訓
と訓辞し、岩見沢市
のミスあやめ二人（
浦田 基子 二十二
歳、松浦 和美 十
九歳）による激励の
言葉、隊員代表に対
する花束の贈呈並び
に五カ町村自衛隊
協力会からの慰問品
の紹介等を行い訓練
検閲受閲に対する群
長以下全員の団結を
図った。



花束を贈呈するミスあやめ



の連結等を並行的に実施し、
橋の設置完了にともない戦車、
無反動砲、百五十五ミリ自走
の連結等を並行的に実施し、
橋の設置完了にともない戦車、
無反動砲、百五十五ミリ自走

写真展

九月十四日から九月十六の
間、西友岩見沢店において、
駐屯地創立記念行事の一環と
して、自衛隊写真展「素顔の
岩見沢自衛隊PARTⅡ」を
開催した。

写真展は、市民の皆さんが、
日頃見る機会の少ない厳しい
訓練の状況や、地域とともに
ある自衛隊として、真の姿を
より深く理解していただくた
め、開催したものである。

展示会場には、駐屯地の紹
介、訓練、陶芸、市民とのふ
れあい、新入隊員、青少年育
成、各種競技会コーナーと七
つのジャンルに区分し、その
様子を隊員が撮影した百三十
点のスクリーンやカラー写真で



特に今年には、一般市民
からのスクリーン及びカラ
ー写真十五点の特別参加
をいただき、内容の濃い
写真展となった。

会期中の入場者は、三
日間て延べ四千五百名に
および、子供から年配者
まで幅広い市民が熱心に
見学し、自衛隊に対する
関心の深さを示していた。

全道自衛隊バトミントン大会 団体三部で優勝

平成二年十一月二日（金）
（三日（土））千歳市スポーツ
センターで行われた第十七回
北海道自衛隊バトミントン大
会に駐屯地バトミントン部
（部長 松井義秋一曹）十一
名が初出場し、優秀な成績を
収めた。

この大会は、北海道自衛隊
バトミントン連盟が、福利厚
生活動の一環としてバトミン
トンを通じ、隊員の健康の維
持・増進及び親睦を図る事
を目的として実施された。

同大会は、団体四十三チー
ム、ダブルス百二十組、シン
グルス九十名のエントリーが
あり、我が岩見沢駐屯地バト
ミントン部は団体三部、一般
二部成年ダブルス及びシン
グルス、成年ダブルス及びシン
グルス、壮年シングルスにそ
れぞれ出場した。

試合は、白熱した展開なが
ら、日頃の練習成果を遺憾な
く発揮して激戦を勝ち抜き、
一般二部シングルの部で大
沼隼士長が優勝、成年シン
グルスの部で小嶋正二技官が第
三位の好成績を収めた。

今大会で活躍した大沼士長
及び小嶋技官の両名は、来年
四月実施される実業団バトミ
ントン大会の選手要員として
選考され、今後の活躍が大い
に期待される。

二千本桜計画 岩見沢駐屯地

岩見沢駐屯地では、駐屯地
環境整備永年計画の一環とし
て、また駐屯地を見守る市
一の桜の名所とするため、約
二千本の桜の木を駐屯地に植
樹する計画で、今年度を初年
度として十月十二日（金）、
約五百本の桜の苗木を駐屯地
司令以下全員で植樹した。桜
の苗木は、司令以下全員の寄
付で購入したもので、特に今
度は一般市民の
皆様が駐屯地の
近傍を通られた
おりに見えやす
いように、六条
通りを重点に植
えられており開
花するのが今か
ら楽しみだと隊
員たちは話して
いる。また、今
年度植樹された
苗木は一本一本
に担当者の名札
が付けられてお
り、冬を越し春
に若芽が吹くま
では、担当者として心配のたね
と成っている。



優勝メンバー

群訓練検閲受閲までの道程



第335 施設中隊 中隊長 熊谷 裕文

・はじめに

本年五月初旬、水際陸害構成を命ぜられた我が中隊は、水際地雷及び敷設装置を作成すべく作業に着手した。

あるものは作成資材を求めて東奔西走し、あるものは五箇団の訓練成果集の為九州に飛び、またあるものは、休日を返し、早朝から深夜に及ぶ溶接作業を実施し、各隊員に熱意と努力により訓練器材は、概成した。

我々は、意気揚々と第一回目の天塩海岸での訓練に臨んだが、もともと湾内の波穏やかな九州の海で開発された敷設器材は、北の日本の荒波にたたきつけられ、渡河ボートさえも沈没してなすすもなく失敗に終わった。

この後、数度に及ぶ失敗を

改良し挑戦をへて少しづつ、北海道の荒波を克服できる現在の器材が出来上っていった。この間の隊員の努力に対し、その苦勞を讃えたい。

九月下旬、名譽ある集成中隊長を命ぜられ、我が第三三五施設中隊を基幹として第三三六・第三三七各施設中隊の勇士が加わり精強集成中隊が天塩地区において編成を完了した。引き続き、各中隊毎に積み上げてきた成果をもとに、一つの中隊として再度天塩の海に挑み数々の教訓を得て群訓練検閲に臨むこととなった。



第336施設中隊 中隊長 多田 直樹

群訓練検閲実動部隊として参加、群訓練検閲の際は北大演習舟訓練場及び牧場ヶ原と、それぞれ静水及び海を想定した地上での受閲となった。

諸般の事情とはいえ、我々の天塩での真の成果を検閲官補助官に理解していただくにはあまりにも不十分な状況であった。

しかし、きびしい訓練を積み重ねた我々集成中隊は、へ

リ、ボート機、敷設門橋、ボート曳航などによる水際地雷原の敷設、コマ型ブロックによる設置障害の構成において、持てる力を存分に発揮し、かつ検閲統制側にも荒海における作業の可否について理解していたらいいものとき信ずる。

天塩の荒海にゼロから挑み、荒波にたたかれながらも熱い想いで訓練を重ねてきた集成中隊に対し、心から「よく頑張った」と言いたい。この想いは群長とて同じであろう。

群検閲に参加して

先日、群検閲に初めて参加しました。

私は、九月十五日頃まで、糧食班勤務をしていたので、今、中隊が何をやっているのか、どうい訓練をしているか、けつこう無頓着でした。

いざ隊復掃をしてみる。十二施設群の目の前には、群検閲という、大きな訓練がまっています。十二施設群の任務は、敵の上陸を阻止する水際障害の構成という



コマ型ブロック設置中の隊員

我が六中隊は、陸害設置班となり、コマ型ブロックによる水際障害の設置という任務でした。その中で大変だったことは、まず、夜間においてクレインで約四トンもある、コマ型ブロックをつり、設置することで、常に危険が伴う

又、ブロックがすんなりと

団長訓練検閲に参加して



第337施設中隊 中隊長 三好 博之

私は、群検閲に炊事班員として参加しました。九月、中隊所属になって初めての検閲だったので、とても緊張しました。

場所は南恵庭の演習場でした。すぐ炊事に必要なものを準備し、それから天幕を張って宿営場を決め仮眠しました。

朝は四時に起床してごはんをたいて、それからおかず、汁をつくり、それを入れ物に入れて配食をしました。

朝の水はとてつめたく手が凍りそうになりました。配食が終わってあとかたづけをした後は、昼食の材料を切り込んだり配食などの準備をしました。何人か炊事を

一番つらかったのは、ボーク運搬でした。門橋の運行にあたっては、もやい手、地雷運搬手となり作業しました。冷たい水しぶきをあびながら、地雷投下作業が終わると、門橋の上から陸上もやい手にロープを投げたのですが、相手にとどかず、ボーク運搬も含めて、まだまだ、施設技術と体力を鍛えてゆかなければならないと痛感しました。

入隊して七カ月、何事も「チャレンジ精神」を發揮して、中隊の戦力になれるよう「自分らしさ」を出して頑張るってゆきたいと思っています。

経験した人はいませんが、他の人は初めての人はばかりで、材料を切る時、厚かったり、大きさが違ったりで、いつ手を切るのかと見ているのも怖いものでした。

私もあまり包丁をつかうことがなかったので不安でしたが、思ったよりうまくできました。

こうして一日が終わり、毎日同じ様なことの繰り返しでしたが、仕事が終ると疲れがどつどつとて寝てしまいました。五日間の短い間でしたが、演習初参加という事でとてもよかったです。

また、こういう機会があれば、ぜひ参加したいです。皆さん本当に御苦労さまでした。

ご苦労さまでした



また、危険が伴う

冬季戦術技会と十二施設群の戦いは果てしなく続くが自分もこれに参加出来るよう、中隊のため、群のために、精一杯頑張るとともに、世界の大シャイアント馬場の必殺技「脳天空割」のように、一歩一歩着実に王道の道を行っていきたい。

株式会社 本堂建設工業

取締役社長 **本堂 春夫**

本社 三笠市幾春別町4丁目 電話 (01267) 416-8288 FAX (01267) 6-8030
 札幌支店 札幌市白石区本通1丁目南1 電話 (011) 861-1381 FAX (011) 865-5034
 石狩支店 石狩市花川南1条1丁目11 電話 (0133) 73-3111 FAX (0133) 73-0757

宝 石 創業82年 貴金属
防衛庁共済組合岩見沢支部契約店

株太田時計眼鏡店

岩見沢市1条西4丁目
☎0126223353・223354

近江建設株式会社

特定土木建設許可・一級建築士事務所

本社 岩見沢市4条東17丁目49番地 電話23-3026
 支社 三笠市廣松町1丁目374 電話2-3179
 営業所 札幌市中央区南2条西5丁目
 ロジエ札幌25 806号室 電話011-222-5359
 営業所 三笠市横内本沢町 電話2-5403

ひるるば

まつり参加・四題

百餅祭に参加して

第三三五施設中隊

二等陸士 鈴木 善貴



自分は、この岩見沢駐屯地に後期教育のため、六月下旬頃やってきて、初めてこの町のお祭りに参加しました。支援という事でしたが、自分から参加してもいいなと思いましたが、

他の立派なみこしにくらべて、自衛隊のみこしは、飾りなど少なく感じましたが、みんな元気があつて他を圧倒しているように感じました。途中から雨がふり出してみんなすぶぬれになりましたが、そんな事を気にせず大声をはりあげてみこしをかついで、すこく楽しかったし、自分もこの百餅祭に参加したことで岩見沢の人間になれたような気がしました。



祭りに参加して
第三三六施設中隊
二等陸士 片山 修司

自分が、百餅祭に参加して思った事は、第一に、祭に欠かせないのが御輿です。一般市民の皆さんと一体になって、はしゃぐとともに笑い、力づくまで担いだ御輿です。

何も考えず、ただ御輿だけ目がいって、体全体が吸い込まれていくような気がしました。

群長、中隊長そして、それぞれの中隊から参加した人達も、自分が思っているようにみんなもそう思っているのではないかと思います。

祭の楽しさ、御輿の面白さがやっとなわかったような気がします。まだ私が小さい頃、地域子供会の御輿を担いだこととありますが、面白さを感じていただけず、あまり面白くありませんでした。

やはり、祭に参加するからには自分を忘れて、時にはバカになるのもいいかもしれません。



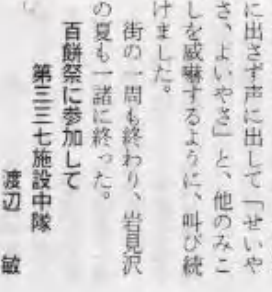
今度このような祭があつた時には、先頭になってやってみようと思つている今日このころです。

夏祭りに参加して
本部管理中隊
二等陸曹 中谷 護

夏をいらどる盆おどり大会が駐屯地で行なわれる事になり、プログラムも決定し計画調整も進み賞品も多数用意され、準備は万全しかし、あと気がかりなのが、当日の天気です。日頃の行ないが、良い？と天気も味方してくれるもので、初日は一時雨でしたが、二日目は雨もあがるという運の良さ、そして家族に混じって近隣市民や地元町内会の人達の参加や隊員の仮装等がひとつの大きな輪となつて踊り、真夏の夜のひとときを心いくまで楽しんでました。

さらに、この華やかな舞台裏では、各部隊の代表が盛り上がりのある大会の為に、舞台装置や模擬店などに、趣向を凝らし地域住民との交流の輪を一層深いものになりました。

盆おどりの約1ヶ月前には、とても良い経験があり、それは天塩町で、参加した祭りです。



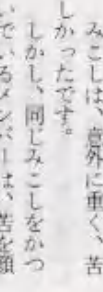
九月十三日ワック第一号が誕生した。

ワック第一号となつたのは、岩見沢市出身織田邦子二士で三笠市の高校を卒業し、数年間札幌で看護助手として、病院勤めをしてきたが、規律正しい生活に憧れて今春三月、想望して止まらなかった自衛隊

に入隊、第三施設団で後期を受け、九月十三日付で第十二施設群本部管理中隊に配置と成つた。

現在織田二士は、駐屯地司令業務室で庶務係として勤務しており、持ち前の明るさと皆んなから好かれる性格で、早くも駐屯地の人気者として、職場に華やかさと明るさをふりまっています。

着隊して感じたことは、部隊が検閲、訓練と非常に忙しい、常に何かの課題に取り組んでいるのだなあと感じました。



これは推測ですが、現在、一官江藤三曹を紹介します。宮崎県の出身で年齢も三十才と、魚に例えれば、今が旬という感じの好青年です。

特技は、スキー、持続走と団でも十傑には入る偉大な力を發揮し、特に群持続走大会では、中隊三連動の原動力として活躍し、レンジャー助教としての指導法と妥協を許さない鬼教官ぶりに、中隊の全員が燃え上がり群総合優勝を目指し頑張っている。

その鬼教官もそろそろ満期となり、後退してくる頭髪を気にしつつ、嫁さん候補とデートを楽しむ余裕もあり、硬軟とりまぜた文字どおり三三六中のエースである。

付陣尉でした。

第三三七施設中隊
陸曹長山 崎 義浩

着任して思うこと

平成二年九月を幹候校で卒業し私は、勇躍第十二施設群第三三七施設中隊へ赴任しました。

この部隊をふり出しに、私の自衛官としての人生が始まるのかと思うと、期待も大きい反面、不安もまた大きなものでした。

私は、いろいろな人の力が無駄にならないよう、自己の能力を高めるよう努力するとともに、期待に応える仕事のできる幹部になり、部隊を活性化あるものにならなければならぬと思っていました。

私は、その中で隊付期間という不安定な時を過ごしながらも、確実にその中へ取り込まれてきていると感じました。

このように実際の部隊に身を置いてみて、私は部隊が動くためには、いろいろな人の力が必要であることを改めて自覚するとともに、その力を結果するに指導官の能力が問われるということがわかりました。

隊員紹介

第三三五施設中隊
三等陸曹 伊藤 重雄

特に彼は、スポーツ万能で高校時代に培ったラケットの闘争心をふるに発揮して持続走スキー、銃剣道等においては常に十二施設群の主力戦士として出場、優勝等に貢献してきました。

また、中隊の後継者育成にあたっては、自ら指導をかって寝食を惜しまず親身な指導をするという快挙をなしました。

さらに、私的な面においては常に頼れる兄貴的存在で営内班員の悩み等を細心の気配りで解決しています。

そんな彼にもったった一つ弱い所があるようです。

創立三十七年にして初めて 男社会に一輪の花が咲いた

二等陸士
織田 邦子



天塩町青年団の方々と協力して実施した。

神輿担ぎで天塩町の大人も子供もみんなひとつになつて、楽しくなごやかな一日でした。

第三三六施設中の持続走鬼教官

着任して思うこと

平成二年九月を幹候校で卒業し私は、勇躍第十二施設群第三三七施設中隊へ赴任しました。

この部隊をふり出しに、私の自衛官としての人生が始まるのかと思うと、期待も大きい反面、不安もまた大きなものでした。

私は、いろいろな人の力が無駄にならないよう、自己の能力を高めるよう努力するとともに、期待に応える仕事のできる幹部になり、部隊を活性化あるものにならなければならぬと思っていました。

私は、その中で隊付期間という不安定な時を過ごしながらも、確実にその中へ取り込まれてきていると感じました。

このように実際の部隊に身を置いてみて、私は部隊が動くためには、いろいろな人の力が必要であることを改めて自覚するとともに、その力を結果するに指導官の能力が問われるということがわかりました。

着任して思うこと

平成二年九月を幹候校で卒業し私は、勇躍第十二施設群第三三七施設中隊へ赴任しました。

この部隊をふり出しに、私の自衛官としての人生が始まるのかと思うと、期待も大きい反面、不安もまた大きなものでした。

私は、いろいろな人の力が無駄にならないよう、自己の能力を高めるよう努力するとともに、期待に応える仕事のできる幹部になり、部隊を活性化あるものにならなければならぬと思っていました。

私は、その中で隊付期間という不安定な時を過ごしながらも、確実にその中へ取り込まれてきていると感じました。

このように実際の部隊に身を置いてみて、私は部隊が動くためには、いろいろな人の力が必要であることを改めて自覚するとともに、その力を結果するに指導官の能力が問われるということがわかりました。

着任して思うこと

平成二年九月を幹候校で卒業し私は、勇躍第十二施設群第三三七施設中隊へ赴任しました。

この部隊をふり出しに、私の自衛官としての人生が始まるのかと思うと、期待も大きい反面、不安もまた大きなものでした。

私は、いろいろな人の力が無駄にならないよう、自己の能力を高めるよう努力するとともに、期待に応える仕事のできる幹部になり、部隊を活性化あるものにならなければならぬと思っていました。

私は、その中で隊付期間という不安定な時を過ごしながらも、確実にその中へ取り込まれてきていると感じました。

このように実際の部隊に身を置いてみて、私は部隊が動くためには、いろいろな人の力が必要であることを改めて自覚するとともに、その力を結果するに指導官の能力が問われるということがわかりました。

着任して思うこと

平成二年九月を幹候校で卒業し私は、勇躍第十二施設群第三三七施設中隊へ赴任しました。

この部隊をふり出しに、私の自衛官としての人生が始まるのかと思うと、期待も大きい反面、不安もまた大きなものでした。

私は、いろいろな人の力が無駄にならないよう、自己の能力を高めるよう努力するとともに、期待に応える仕事のできる幹部になり、部隊を活性化あるものにならなければならぬと思っていました。

私は、その中で隊付期間という不安定な時を過ごしながらも、確実にその中へ取り込まれてきていると感じました。

このように実際の部隊に身を置いてみて、私は部隊が動くためには、いろいろな人の力が必要であることを改めて自覚するとともに、その力を結果するに指導官の能力が問われるということがわかりました。

駐屯地盆踊り大会について



本部管理 中隊長 乾 康博 士長

駐屯地の盆踊り大会は、八月十日、十一日の二日間におたり実施された。岩見沢市の市民も大勢来て、大いに盛り上がった。

各中隊から色々な店も出て楽しい二日間は、あつと言期間に終わってしまった。

自衛隊の中で、この様な行事が行なわれることは良いことだと思えます。これからは沢山駐屯地で実施されると良いと思えます。

今までの自衛隊の印象も、この様な行事が行われるたびに変わっていくのではないかと思います。

自分も今までの考えとは異なり、自衛隊も良い職場と思う様になりました。

これからも沢山、みんなが楽しく行えるような行事を実施してもらいたいと思えます。

部隊配置になつての抱負



基地通信隊 村田 正史 2 士

自衛隊に入隊して六ヶ月の教育期間を経て、岩見沢派遣隊に配置されました。

いま思えば、自分がこの場所にいるということは、入隊して二、三ヶ月頃では、全く考えられない事でした。

しかし、なんとか耐えて今の場所にいる訳です。

着隊する時、教育隊とは違って周りの人達は皆階級が上

ですし、自分一人がこの部隊に配置されるので何かと不安でしたが、来てみると、とてもいい人はかりで安心しました。

配置されてもまだ教わることも沢山あり、少し心配ですが、頑張って勉強し早く一人前になりたいと思えます。

又、駐屯地の皆様とも早く親しんで、駐屯地の一員として恥じないよう努力したいと思えますのでよろしくお願います。

私の趣味



第342施設中隊 伊藤 藤 3 曹

ここ数年、グルメブームが世間で話題となり、テレビの番組や漫画などにも料理を題材にしたものがよく見受けられる。

そんなグルメブームに便乗したわけではないのだが私の趣味は美味しい者をたべる事である。「おいしい物がきらいだ」なんていう人はいます、

おいしいと思うが、おいしい物をおいしくたべる努力をしていない人はそんなに多くはないと思えます。

昔から喰い意地のはつている私は、食べ物に関しては、私なりに創意工夫と研究心をもって望んでいるつもりなのでその一端をこの場を借りて紹介したいと思えます。まず美味しいものを美味しくたべることにしかかかせないのは、「万全な体調」だと考えている。

病気で熱があったりするとせつかくのちこそ威力半減美味しくたべられませんか。酒のみすぎ、たばこの吸いすぎも美味しく食べるための天敵です。

健康で万全の体調こそコッだと考えている。

次に大切なことは、「旬の物でなるべく新鮮なものをたべる」これが大切だと思えます。

ファミリィコーナー

きこの狩に参加して

三二器材中隊 古沢善之 三曹



去る、九月二十四日は、代休だというのに我家は朝からきこの狩の準備で大騒ぎであった。

その日は、昨日の晩からの雨がさらにひどく、きこの狩どころではないと思っていたがそれでも長靴、カッパ、ふくろと、準備はOKであった。

会場につくと、雨にもかかわらず、雨のひどくなるなか、演習場へ出発、普段から山歩きをするこの少ない私達にはきこの二も見つからず、いやけをさしはじめていた。

それでも一つ見つけたときは大騒ぎをし、私が見つけたんだからと奪い合いになる始末。

何でも金をだせば、買える今日この頃、自然の尊さを感じた一日であった。

多忙な折、この催を計画し、雨の中実行して下さった、陸曹会、山裁部の人達の労をねぎらって終わりにします。御苦勞さまでした。

流通及び科学の発達している現代では冬でも夏物がスーパーで売ってたりするが、やはり旬の物で、しかも新鮮な物を食べるほうがおいしい

と思う。

最後にフランスの有名なことうざを二つ「空腹こそ最高のソースである」



前日の好天気の中、創立記念日の興奮さめやらぬ今日、陸曹会のきこの狩を楽しみにしていたところ、朝からドジナ降りの雨、どうせ参加者は少ないだろうと思いたが

は少なすぎたと思いたが重裝備で参加しました。

ところが、なんと隊員家族は勿論、部外者を含めて百三十人も参加、駐屯地司令、陸曹会会長の歓迎の言葉や、きこの専門の鑑定者による説明もうわの空、早く人より多くのきこのこをとりたいたい、山に入りました。

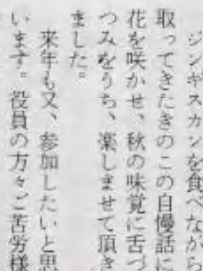
まあ、あるわあるわ、こりなると人間って欲の固まりかたつばしから取って袋いっぱいになり大満足。そこで専門の人に鑑定してもらったところ、「あーこれはだめだ、これもこれも」袋いっぱいだったはずのきこのこは、みるまに少なくなり、残ったのは二、三個。そんなこんなで今取りたてのきこのこを早速隊員の皆さんの手際のいい調理できこの汁が出来、幸い雨で冷めきった体に熱々のきこの汁がとても美味しいかったです。

部外者と隊員家族の皆さんとも知り合い、しかも、きこの

この専門的知識、主婦もかなわぬ調理の素晴らしさに深く感動しました。

ジンギスカンを食べながら取ってきたきこのこの自慢話に花を咲かせ、秋の味覚に舌つみをうち、楽しませて頂きました。

来年も又、参加したいと思えます。役員の方々ご苦勞様でした。



記念行事を見学して

第三五施設中隊 村上 祐子 夫人

昨年、子どもがまだ小さくて行けなかったのですが、今年こそは楽しみにしていました。記念式典での観閲行進では、各中隊の方々が中隊長を先頭に規律正しく行進しているのを見て、さすが自衛隊だと関心しました。主人に前々から「APC」という戦車に乗るよ」と聞いていました

が、実際に迷彩服に戦車帽をかぶって戦車に乗っている主人を見て、子どもは、「お父さんじゃあない」と言っていて後づさりをするし、私も普段家にいる時とまったく違うきりつとした姿に、びっくりするやら、惚れ直すやら、初めて自衛隊の仕事の大きさを見たような気がしました。

ジーブ試乗では、初めて乗

ったジブに子供達も私もキョロキョロ・ワクワクし、美術・陶芸展では、知っている隊員の家族の方々のすばらしい作品に関心しました。

初めて自衛隊の記念行事を見学して、私たちが子供達もびっくりしたり、とても楽しい一日でした。

来年もぜひ、子供達と見学に行きたいと思っています。



私のお父さんは、何でもしんけんにいっしょうけん命やるがんばりやさんです。

スキーを私に教えてくれたとき、しんけんに教えてくれたがんばり練習し、体育の中でもスキーの成績が、よくなりました。

ほかにも、バトミントンなどいろいろに教えてくれました。

きびしくて、もうやりたくないと思いましたが、友達に「私に教えて」と、言われて教えてもらってよかったと思えました。

教えてもらった中でいちばんきびしくていやだったのは、スキーでした。

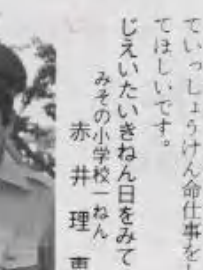
山を登ったり、すべったり、方向をかえたりかたんかなよう、むずかしいものがいろいろとありました。今でも、いろいろ注意されていやになつてやりたくなくなるときがあります。

でも自分一人では、なかなかできないものもあります。だからお父さんに教えてもらい、上手になつて、すいすい

すべられるようになりたいので、いっしょうけん命練習しようと思えます。

そのほかにもいろいろ教えてほしいです。

それは、お父さんに教えてもらって、いろいろできるようになったからです。とても感謝しています。



私はいろいろ教えてくれるお父さんが大好きです。

これからも、体に気をつけていっしょうけん命仕事をしたいです。

じえいたいきねん日を見て

みその小学校一ねん 赤井 理恵

わたしは、お父さんといっしょにじえいたいきねん日をつねねんを見にいきました。わたしは、ヘリコプターからじえいたいきねんの人をロープでおりてくるのを見てとてもすばらしいとおもいました。

それからジブにのれたのがたのしかったです。

まがるところでぶつかりそうになつたのでびっくりしました。

ストップ・ザ・交通事故

警務隊 小林 二曹

北部方面隊では、隊員格別の交通死亡事故が平成二年一月から二年九月末現在で十五件も発生し、隊員十二名、部外者三名の計十五名が尊い命を失っています。

この数字は昨年同期(前年同期三件、隊員二名、部外者一件)の五倍にもなり、また道内交通事故死者数の三割に隊員が関与していることになり、過去に例を見ない異常多発と言えます。

事故の内容を見ると、ほとんどが若年隊員によるスピードの出し過ぎ又は前方不注意等、無謀・緩慢な運転が原因となつています。

これからの北海道は、冬本番となり益々道路状況・気象状況等が悪くなりそうです。制動距離も夏の二倍以上になり、車は急に止まらないことを再認識して車間距離を十分にとり早めのブレーキ・シフトダウンを実施し、事故を起こさない・事故に遇わないことを合言葉に、これからの防衛運転に努めて下さい。

現金自動設備雑感

第三七会計隊長 大川内 一尉



皆さんの要望・協力により、現金自動支払機(CD)が十月八日から、設置、使用開始となりました。

実は、二年前の六十三年十二月に検討し、某銀行に打診しましたが、小規模駐屯地な

ていました。はだしとわかって、となりの人にもよくはだしてはいたくないね」と私は話かけました。

昨年、何かの会合の時、再び要望があり、また、自衛隊(駐屯地)の魅力化施策のなかに、現金自動支払機の設置がありましたので、今度はぜひとも実現しなければと思いましたが、各金融機関にアタックしました。

アタックしてみても採算面からいろいろな設置基準があることを知りましたが、そのうち、北海道銀行さんが積極的に、可能性があるのでほと希望をもちました。

その以降については、アンケート調査などを実施するなど皆さんの意見・要望を聞き、納得して給料口座振込をしていただくために、銀行さんの協力を得て、いろいろな対策をし、即実行しました。

陸上自衛隊の各駐屯地も現金自動支払機が設置されているところは増えつつありますが、岩見沢のように小規模駐屯地の設置は、ここが初めてであり、皆さんの熱望・協力により、設置されたのですから大いに誇りを持っていいと思います。有意義に使いたしましょう。

キャッシュカードは、金券と同じです。常に身につけて、紛失などしないようにして下さい。市民の皆さんも気楽にご利用下さい。

自衛隊のキャンプで楽しかったこと

渡 辺 祐 子

七月三十日から七月三十一日にかけて、一泊二日でキャンプをしました。七月三十日の夜に、キャンプファイヤーをして、中に出てきた火の神様の足は、はだしてしたので、私はすっかりわらじみたいなお物をはいているのかなと思っ

岩見沢市民駅伝に参加 本部管理中隊一般の部 優勝



平成二年十月十日体育の日、岩見沢市陸上競技場において、第十九回市民駅伝競走が実施された。

参加チームは、岩見沢小学校と中学校男女三チーム、駐屯地からは、各中隊一個チーム(六名)、計十三個チームが市内5kmコースを力走した。

順位は、総合で光陵中男子Aチームにやぶられたものの一般の部で本部管理中隊が一位、三三七中二位、プロジェクトチーム三位、三三六中以下、三二二器材中、三三三、三三七中の順であった。本管中のメンバーは倉園三曹、新原三曹、竹本士長、近藤一士、中村二士、桜庭二士

合格 おめでとう

- 一般幹候 三三七中 本田 武史
- 三三七中 齊藤 政則
- 三尉候 本管中 宮本 詔雄
- 曹候補生 三三六中 田中 幸男
- 三二二器材中 佐藤 和則
- 技術陸曹 三二二器材中 川中 一
- 三二二器材中 奥村 篤広
- 陸曹候補士 三三六中 齊藤 武彦
- 三三七中 木村 清弘
- 三二二器材中 山本 哲也
- 三二二器材中 越智 寿雄
- 三二二器材中 村上 俊介
- 三二二器材中 河原 康史
- 三二二器材中 中上 聡

栄光をたたえて

- 四級賞状 三尉 迫田 寿(職)
- 二曹 岩井 博実
- 二曹 浦木 実
- 二曹 小石川和浩
- 二曹 鎌田 久義
- 一曹 鶴田 宏道
- 二曹 伊藤 一則
- 一曹 中田 賢二(募)
- 二曹 佐々木哲弥(車)
- 三級賞状(NA総監) 岩見沢駐屯地業務隊

こんにちは 赤ちゃん

- 加藤 博文 長女 彩子 6・14
- 山下 光喜 二女 千波 9・14
- 竹下 明夫 長女 なみ 7・14
- 山本 哲也 長男 康平 9・25
- 西森 敏夫 二男 英亮 7・18
- 村上 治雄 長男 拓馬 9・28
- 中村 正人 長女 美映 7・18
- 鳥村 昭彦 二女 紀子 10・8
- 長谷 英明 長女 千景 9・3
- 工藤 善浩 長女 あかり 11・2
- 小林 伸広 長女 結花 9・4
- 山口 和人 長男 慎平 11・5
- 加藤 秀一 長男 凌 9・7
- 上杉 高正 二男 耕太 11・17
- 岡本 美弘 二男 晃 9・13
- 佐藤 俊一 二女 麻季 12・7
- 同 三男 学 9・13

定年退官

永い間 ご苦労さまでした

- 第三二二施設器材中隊 曹長 芳賀 清志 9・6
- 住所 札幌郡広島町字共栄 四二〇一八四
- 北海道上野幌工事業 就職先
- 第三三六施設中隊 (札幌市大通東五丁目) 曹長 丸山 勝司 8・21
- 住所 岩見沢市四条東 一八一九
- 北海道上野幌 就職先
- 第三二二施設器材中隊 三尉 櫻井 博俊 12・9
- 住所 岩見沢市日の出町 三七一一四
- 就職先 岩見沢振興公社
- 第三三五施設中隊 曹長 佐藤 利光 12・14
- 住所 岩見沢市の出町 五五五一〇二
- 北海道(美唄料金所) 就職先
- 第三二四基地通信中隊 曹長 伊藤 孝三 9・18
- 住所 岩見沢市北五条西 一四一二
- 就職先 未定

川柳もどき(群検題)

水際守る我群は、創意工夫で検閲に勝ち。一角をつけた胸形は、水際守る、におう様。最後のとりでの胸形プロック、泡を吹き吹き鎮座します。

おめでた 新婚さん

- 佐々木洋一 妻 文枝 9・23
- 佐々木松彦 妻 千浩 10・11
- 野口 健一 妻 明美 10・29
- 千葉 孝幸 妻 弘恵 11・26
- 相原 良憲 妻 由花里 12・8
- 柴田 周二 妻 ひとみ 12・9
- 田中 勝 妻 弓恵 12・10

いつまでもお幸せに

安心とゆとりのプラン
協栄生命 LL・ワイド 15 50 100 更新型
担当: 田村純子 塚本早苗
余裕資金を上手に活かして大型保障
協栄の保険料頭金制度をご利用ください。
定期特約付終身保険
協栄生命保険株式会社

サンマウセウエオンシマウ
華燭
※高から終身までのついでにセとしてこの価格!
ご両家ご負担 200,000円
★全費金1人様5,500円・人数・200,000円(両家ご負担)
豊かな味と憩いの広場
ホテルザンフラゲ
岩見沢市4条東1丁目☎23-7788

●年金と医療保険のバイオニア
●生涯の保障に終身保険(明朗)
頭金制度により毎月安い
保険料で大きな安心
東邦生命
担当 深沢 隆子 (内327)